

平成 25 年度

市教研音楽部会 鑑賞領域

学習指導案

研究主題

「伝えよう 私の音楽 私の心」

《研究の視点》

視点1 思いや意図を伝え合う活動の充実を図るために

視点2 思いや意図を表現する力を育むために

視点3 評価を生かした指導をするために

本時 視点2 「思いや意図を表現する力を育むために」の検証

日 時 平成25年11月19日(火)
授 業 14:00～14:50
協議会 15:00～16:30
場 所 千葉市立蘇我中学校
授業 第2音楽室
研究協議 会議室
授業者 加藤聡子
展開学級 1年7組
指導者 千葉市立磯辺中学校校長 清水幸子先生

第1学年7組 音楽科学習指導案

指導者 加藤 聡子

1 題材名 物語を歌で表現する音楽のおもしろさを味わおう。

教材名「魔王」 シューベルト作曲

2 題材について

(1) 題材の目標

曲の雰囲気を作り出している様々な音楽的要素を聴き取り、歌唱表現の豊かさやおもしろさを味わう。

(2) 題材観

本題材は、学習指導要領第1学年 2内容 B鑑賞(1)「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き言葉で説明するなどして音楽のよさや美しさを味わうこと。」をねらいとして設定した。

鑑賞の授業では、単に音楽を表層的に快いとか、きれいだということにとどまらず、その音楽の内容を自ら知覚・感受し、自分なりに価値あるものとして意味を見出すことが求められている。共通事項を支えにしながら、楽曲を形づくる要素と曲想との関わりを感じ取らせることを通して、主体的に聴く態度を育てたいと考えている。本題材ではシューベルト作曲の「魔王」を扱うが、劇的な詩と一人の歌手が4人の人物を歌い分ける表現力、ピアノ伴奏の効果等、音楽の様々な要素があふれた魅力ある楽曲である。曲のイメージと楽曲を特徴づける要素の関連がわかりやすい楽曲であり、本楽曲を通して、聴く力、聴き取る力を高めることができると考えた。さらに、聴き取った要素を基に自分の言葉でその良さを伝える活動を取り入れることで、楽曲をより自分のものとしてとられることができると考え、本題材を設定した。

(3) 生徒の実態

本校は4つの小学校から上がってくる学区であり音楽経験も様々である。学年全体の雰囲気としては、歌唱では歌うこと自体に抵抗を見せる生徒は少ないが、実際の声量は乏しく自信のなさが感じられる。

前期の鑑賞は「春」を扱ったが、ソネットと音楽の関係を音の強弱や高低、音色を中心に考えさせ、大体の生徒が音楽の特徴をとらえて鑑賞することができていた。

アンケートでは「鑑賞の授業が嫌い」と回答した生徒が半数近くいた。普段の授業の様子からは、集中して音楽を聴く様子が感じられるが、「嫌い」の理由には、感じ取ったことを言葉や文章で表すことを難しい、苦手だと感じている生徒が多いことがわかる。

音楽の要素については、旋律、形式、構成についてよくわからない生徒が多いことが分かった。テクスチュアについてはまったく触れていないため全員がわからないと答えている。これら4つの要素についてはこれからの授業で教え込んでいく必要があると感じる。

[アンケート] 1年7組 調査人数 32名

1 音楽の授業での音楽鑑賞について。(小学校での経験も含めてよい)

好き 17人 嫌い 15人

2 感じ取ったことを言葉や文章で表すことについて。

好きで得意だ 9人 好きだが苦手 3人 嫌いで苦手だ 20人

[好きで得意と思う主な理由]

- ・いろいろなことに気づくことができるから。
- ・感じ取ったことを言葉にするのが楽しい。
- ・聴いて色々な気持ちを表すのが好きだから。

[嫌いで苦手と思う主な理由]

- ・感じたことを文章で表すのは難しい。
- ・何を書けばよいのかわからない。
- ・面倒くさいしつまらない。
- ・感じるが少ない。

3 音楽を特徴づける要素について。

よくわかるものは◎、なんとなくわかるものは○、わからないものは△をつける。

	音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
◎	12	19	14	1	0	15	1	2
○	17	11	15	9	0	16	7	17
△	3	2	3	22	32	1	24	13

(4) 指導観

鑑賞の授業が生徒にとって楽しく、興味深いものとなるためには、ただ単に曲の美しさや楽しさだけを伝えるのではなく、何かが「聴き取れた」とか「わかった」と実感できる場面を作ることが大切である。「自分が感受したのはこのような要素によるものだったのだ。」、或いは、「この要素によってこのような雰囲気が醸し出されるのだ。」、ということに気づくことによって、音楽を主体的に聴き、味わう活動につながると考える。

今回の授業ではそれぞれの登場人物の声の特徴や変化を聴き取る活動を通して、曲の雰囲気を作り上げている様々な要素に着目させていきたい。聴き取る要素を焦点化するに当たり、登場人物の「父」「子」「魔王」の三人の対話がわかりやすい部分を取り出し、[音色]と[旋律]をポイントにしてくり返し聴く活動を行う。くり返し聴く活動を通して、要素同士の関連を覚識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する能力を育てていきたいと考える。そして、これらの活動を受けて、自分の言葉で音楽のよさを表現する力を養うとともに、他者の考えを知ったり、共感し合ったりする活動へとつなげたいと考える。

3 評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<p>① 登場人物の声の特徴と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>② 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴に気づいて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>① 登場人物の声の特徴と曲想との関わりに気づき、そのよさを感じ取って聴いている。</p> <p>② 音楽を形づくっている要素や曲想との関わり合いから想像したことや感じ取ったことなどを言葉で表すなどして、楽曲のよさや美しさを味わって聴いている。</p>

4 題材の指導計画（2時間扱い）

時配	ねらい ○学習内容 ・学習活動	教師の働きかけ	評価規準 評価方法
	シューベルト作曲「魔王」を聴き、登場人物の声の特徴と曲想の変化を感じ取る。		
第1時 (本時)	<p>○登場人物の声の特徴を聴き取る。 ・場面を特定して鑑賞する。魔王、父、子の声の特徴を、音色、旋律から感じ取る。</p> <p>○声の特徴から、物語の内容を想像する。</p> <p>○物語の内容を理解し、楽曲全体を鑑賞する。</p> <p>○「魔王」の登場人物を紹介する。 ・聴き取った要素を基にして、登場人物から一人選び、声の特徴を自分の言葉で紹介する。</p>	<p>・くり返し鑑賞して聴き取った内容を確認しながら進める。</p> <p>・聴き取った音色の特徴や旋律の様子を基に、想像させる。</p>	<p>関 - ① 観察 (取り組み・態度)</p> <p>鑑 - ① ワークシート</p> <p>鑑 - ② (紹介文)</p>
第2時	<p>・シューベルトについて知る。</p> <p>・演奏者による表現の違いを感じ取る。(比較鑑賞)</p>		

	<p>○教科書 p. 41 を参考に、作曲者、作詞者、楽曲について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌曲の王と呼ばれたシューベルトの歌曲の魅力を知る。 ・ シューベルトの作品に触れる。「野ばら」「ます」 <p>○異なる歌手による演奏を鑑賞する。</p> <p>①フィッシャーディスカウ ②ジェシーノーマン</p> <p>表現の工夫の違いや特色を感じ取り、ワークシートに記入する。</p> <p>○「魔王」を紹介するキャッチコピーを考える。</p>	<p>○異なる演奏者の演奏を聴き、表現の仕方にどんな違いがあるか考える。</p>	<p>鑑 - ① 観察 ワークシート</p> <p>関 - ② キャッチコピー</p>
--	---	--	---

5 本時の学習

(1) 本時の目標

歌曲の鑑賞を通して、音楽を形づくっている様々な要素を聴き取り、人の声でいろいろなイメージが伝えられることを感じ取る。

(2) 視点との関わり

《視点2》思いや意図を表現する力を育むために

鑑賞の学習における「表現する力」とは、音楽を自分のものとして捉え、自分の考えをもって聴くこと、さらに、自分なりの言葉で感じたことを述べたり、批評したりする力と考える。1年生の学習では、主体的な鑑賞態度を育てていくために、「聴き取れた」「わかった」という実感をできるだけ多く持たせることが大切である。授業の過程において、くり返し音楽を聴きながら音楽を特徴づけている様々な要素に気づかせることで、音楽を自分のものとして捉えられるようにしたい。自分なりの音楽の感じ方、言葉での表現の仕方を身に付けていくことで、より音楽鑑賞を身近なものとして捉えられるようになることを考える。

(3) 本時の展開

時配	○学習内容・学習活動〔共通事項〕	○教師の働きかけ ◆評価規準
15分	<p>○本時のねらい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>歌曲を鑑賞を通して、人の声で表現される いろいろなイメージを感じ取ろう。</p> </div> <p>○登場人物の声の特徴を聴き取る。 魔王、父、子の場面を一カ所取上げ鑑賞する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>魔王：ぼうや一緒においでよ、用意はとう にできている…</p> <p>子：お父さんお父さん、それそこに魔王の むすめが…</p> <p>父：ぼうやぼうや、ああそれは、枯れた柳 の幹じゃ…</p> </div> <p>・音色に注目して聴く。</p> <p>3人を区切りながらくり返し聴く。 〈予想される発言〉</p> <p>①(魔王)軽い感じ、明るい、楽しそう ②(子)音が強い、訴えている感じ、暗い ③(父)力強い、低い、暗い</p> <p>・旋律の変化に注意して聴く。 音の高低に注目して聴く。ワークシートに 音の高低を線で描いていく。何度か聴いた ら、代表の生徒に黒板に線を書かせ、旋律の 特徴について全員で確認する。</p> <p>・音色 旋律について確認し合ったことをま とめ、場面を通して聴く。</p>	<p>○教師の働きかけ ◆評価規準</p> <p>○それぞれ2～3回ずつ聴き、多くの生徒がいろ いろなことに気づくことができるようにする。</p> <p>○二人目、三人目は前の人物との比較から書き始 めることを助言する。</p> <p>○旋律の高低や終わり方はどうなっているかを 確認する。</p> <p>◆関 - ① (観察、発表の様子、ワークシート)</p> <p>A と判断するポイント</p> <p>声の特徴を音色や旋律の変化から感じ取り、ワ ークシートに書くことができている。</p> <p>C の状況にある生徒</p> <p>音楽の感じを表す言葉を頼りに書かせたり、旋 律の動きを手で表したりして活動の手助けをす る。</p>

15分	<p>○物語の内容を想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物のキャラクターとセリフを想像する。班の中で自分の考えを発表し合う。 	<p>○聴き取った声の特徴から会話の内容を自由に想像させたら、自分の想像したものを班のメンバーに伝え合う。</p>
5分	<p>○曲名や登場人物について知る。</p>	<p>○シューベルトの作品であること、「魔王」「子」「父」と「語り手」の4人の役があることを確認させる。</p>
5分	<p>○全曲を通して鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の歌詞を追いながら、それぞれの声の特徴に注意しながら鑑賞する。 	<p>○登場人物に合わせてパワーポイントで歌詞を提示しながら鑑賞させる。</p>
10分	<p>○「魔王」の登場人物から一人選び、声の特徴を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入し発表する。 	<p>◆鑑 - ② (ワークシート)</p> <p>A と判断するポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴き取った要素を基にして、登場人物の声の特徴を自分の言葉で説明している。 <p>C の状況にある生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の声の特徴をもう一度確認し、自分の言葉で書けるよう支援する。